

令和6年度 第4回 防災・災害対策委員会 【議事録】

場 所： 建築士会 会議室 (オンライン併用)

日 時： 令和6年8月13日 (火) 午後6時30分～8時00分

出席者：(担当常任理事 村島)・原田事務局長

(オブザーバー小檜山)

委員会：(折笠)・有泉・深谷・中山・(加藤)・渡辺・(丹治)・(高橋)・(飯澤)・東・河原・奈良・木

下

議事録作成者 渡辺 () 内は欠席、_____はオンライン参加

■18:30～20:00

通 常 委 員 会

□ 議題

○ 前回議事録 (令和6年7月9日 対面 (オンライン))

1. 応急危険度判定 体制について

- ・支部内における応急危険度判定士への連絡網の作成 (8月中) 進捗状況

横須賀支部 8/9 提出済

横浜支部 (木下さん)

116名 内3名、メールアドレス、携帯連絡先が分からない。

→連絡先分かり次第、確認する。

県央支部 (中山さん)

名簿を入手したので、これから纏める予定。

中支部 (深谷さん)

緊急三役会 (支部長、副支部長、会計 5名) を開き、支部長が全員に一斉メールし、三役以外の役員に個別連絡。

副支部長、会計は応急危険度判定士 (20人弱) を3グループに分け、個別に連絡し、支部長に報告。

- ・最終で協力をしていただける判定士だけを名簿に入れて作成し、月末提出予定。

- ・平塚市より中支部に南海トラフの臨時情報が出た段階で支部長以外に緊急時に連絡が取れるサブ的な方を出してほしいとの依頼があったので、副支部長2名の連絡先を伝えてある。

川崎支部 (河原さん)

金子支部長と連携を取り、キャラバン隊の名簿を元に作成中。

情報が一致しない人には金子支部長から連絡を取ってもらっている。

相模原支部 (有泉さん)

元々の名簿があるが、メールや連絡先がないものが多い為、個別に連絡し教えてもらう事になったが、誰が判定士の資格を持っているか分からない。

今月末までに連絡が取れる人を頭にし、他の方に連絡し纏める予定。

→建築士会の判定士名簿を河原さんより有泉さんに送る。

- ・秦野市は判定士の独自の名簿を持っている。参集の連絡が建築士会、行政どちらからも来た場合、どうしたらよいか。この連絡網はどのように使われるのか分からなくなっている。(深谷さん)

→まず市町の行政職員が動き、人が足りない場合に要請が来るので、緊急で動くという事はない。

連絡網は緊急のものではなく、二次的なものである。(中山さん・河原さん・原田事務局長)

- ・連絡網が出来た後、支部長が動くのではなく、サブリーダーが動くことになるので、サブリーダー等作る必要がある。(河原さん)

- ・被害があったときに実際に携帯、メールは繋がるのか。LINEの方が繋がりやすい。(木下さん)

- ・士会として連絡手段を考えていってはどうか。実験的に防災委員会でLINEを作るのはどうか。

使いやすいようなら会員全体に広げる。(河原さん)

2. 相談体制のイメージの確認、相談体制 各地区リーダー・サブリーダーについて …資料1
- ・相談員の人数が足りない。周知し人数を増やし、スキルを上げなくてはならない。支部長ではなくサブリーダーが取りまとめていく事になる。応急危険度判定士の名簿はこちらにも活かせる。(河原さん)
 - ・相談員は自宅か支部登録場所かどこを起点に行うのか。災害地を考えると住宅があるところがよいのかもしれない。(東さん・河原さん)
 - ・9月19日の支部長会議に防災委員会で時間を頂き、応急危険度判定や平塚で行う企画について説明を行いたいと思っている。(河原さん)

3. 平塚市開催「建築士の日 企画」(主催:防災・災害対策委員会 共催:中支部)について(深谷さん)… 提案書参照

- ・市への提案書兼委員会検討書【建築士の日 企画】 中支部/委員会コラボ
- ・官民連携による防災力強化のためのワークショップ『わがまちの災害対応を考える』

[提案書について]

- ・被災された住宅を建築士と行政職員がどのように支援していくか、シュミレーションするグループワークを企画。(裏狙い…行政職員の建築士会会員を増やしたい)

<講話>

- (1) 危険度判定の意義等は村島さんをお願いしたい。(2) 再建支援については高橋さんをお願いしたい。
- (3) 建築士でありながら被災しながら支援を行う実体験のお話を河原さんをお願いしたい。

<ワークショップ>

- ・シュミレーションを通して、各課で行う内容を把握してもらおう。

- ・平塚でとどまることなく各支部でも行うべきだと考える。(河原さん)
- ・想定文など平塚に沿ったものになると思う。一つ作ればそれを土台としてそれぞれでの場所で作成出来ると思う。ワークショップではこちらはファシリテーターとして行う方がよいと思う。(中山さん)
- ・グループを先導する人が必要だと考えているので、こちらサイドも中に入って参加した方がよいと思っている。(深谷さん)
- ・やりたい人は入ってもいいと思うが、知っている人が入るとその意見に引っ張られる可能性があるので、あまり入らない方がよいと思う。一つでも気づきが出来れば良いと思う。(中山さん)
- ・こちらの企画は、今年度の防災委員会のメイン企画となる。今年度は名簿を作るなど基本的な事に注力し、市町との連携を行う。(河原さん)
- ・家屋の数からして、行政だけでは足りない。民間も入って行わなければならないという事を伝えてほしい。村島さんに話してほしい。(有泉さん)

- ・11月開催を目指し、9月の委員会で行う。

0. ミニ勉強会 続「防災グッズはどこに置くべき？」 (中山さん)

→水、防災グッズ等 解説

次回委員会 令和6年9月10日(火)18時30分より 場所:建築士会会議室対面(オンライン)

次々回委員会 令和6年10月8日(火)18時30分より 場所:建築士会会議室対面(オンライン)、懇親会